

若手・女性研究者奨励金にご支援を賜りました
寄付企業法人や寄付者の皆様へ



受賞者から御礼の言葉

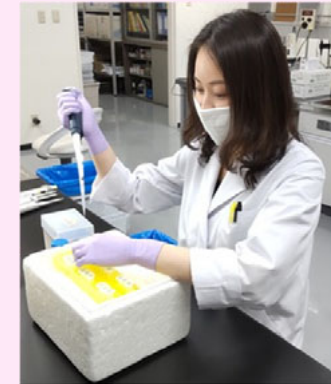
2023年度（第6回）女性研究者奨励金 受賞者

オバラ マミ
小原 真美

岩手医科大学 医学部 薬理学講座情報伝達医学分野 助教

〔研究課題名〕

細胞接着因子ギセリン/CD146の心肥大治療薬としての検討



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本奨励金に採択していただき、誠にありがとうございました。また、ご寄付いただきました企業様、関係者の皆様、日本私立学校振興・共済事業団の方々には深く感謝申し上げます。研究に必要な物品および試薬を購入できたことにより、より一層研究に取り組むことができ、非常に有意義な実験結果をもたらすことができたと考えております。

今後もこれまで取り組んできた研究データを基に本研究を発展させ、社会に還元できるよう邁進して参ります。

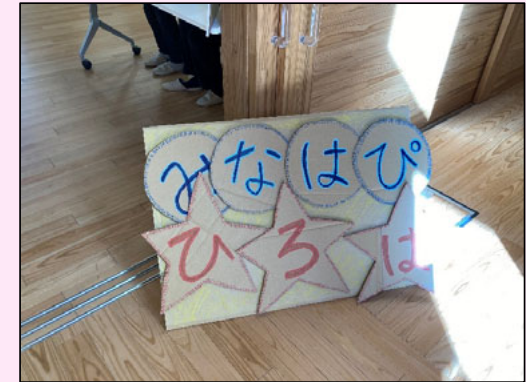
ヤマザキ マホ
山崎 真帆

東北文化学園大学 現代社会学部 助教

〔研究課題名〕

「災間」の時代におけるよそ者とレジリエンス

－発災後に移住した女性たちの実践に着目して－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、私の調査研究に対しまして、多大なるご支援を頂戴し誠にありがとうございました。先に記述しましたように、本研究は災害研究と平時の「よそ者」研究を接続しようとする挑戦的かつ非常にあいまいなものであり（専門を問われると答えに窮します）、どのように第一歩を踏み出すべきか逡巡しておりました。そのような折、若手・女性研究者奨励金の公募要領にあった「分野の限定はしない」の文言に励まされ、応募を決意いたしました。光栄にも本研究を採択いただいたことで、膨大な蓄積からなる2つの研究領域に、頼りないながらも小さな橋を渡すことができたものと自負しております。災害が頻発する捉えどころのない時代においてこそ、こうした曖昧な領域の研究が貢献できるものと確信しております。今後も皆様の期待に沿えるよう、引き続き尽力してまいります所存です。

コミヤ ノゾミ
古宮 望美

千葉商科大学 基盤教育機構 任期制助教

〔研究課題名〕

コロナの流行が日本の若者の容姿に対する意識に与えた影響の解明

－マスク着用やWEB会議の影響による顔の自意識の変化に注目して－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

年間40万円という研究費は我々研究者にとって大変貴重な資金であり、また私学事業団殿においては若手研究者や女性研究者のユニークなテーマにフォーカスして研究支援をされております。そのことから、本当に自分が興味関心を抱いているテーマについて研究することが出来るため、研究者の方にはぜひ資金獲得に向けてトライして頂きたいです。また、寄付企業の皆様におかれましては、この度のご支援に心からの御礼を申し上げます。研究を通して社会の諸課題を解決するという研究者としての使命を果たすことが、自身の職責であると痛感しております。重ねてこの度のご支援に感謝申し上げます。2023年度は研究支援のおかげで、国際的な場面に向けて有用な実績を残すことが出来ました。大学教員として教育はもちろんですが、今後も研究や論文執筆を通してその成果を一般社会に還元できる研究者であり続けていく所存です。

オオマ加里 ヒトミ
大曲 仁美

青山学院大学 理工学部 助教

〔研究課題名〕

発光色変調可能な光る炭素自立膜の開発とセンシング応用



寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を進めるにあたり支援くださった皆様に感謝申し上げます。本研究のような基礎研究は、すぐに応用などに結びつくものではなく、地道な継続が将来の社会的意義につながると考えております。研究成果が日常で役に立つ技術へと応用されることは一番の社会貢献であり、研究者が目指すところではありますが、化学者として基礎の大切さも忘れずに、「基礎研究のすばらしさ・大切さ」も企業の方や一般の方々に、学会発表や広報を通じてアピールしていきたいと思っています。今後も研究に精進し、様々な形で社会貢献をしていくとともに、後の世代に化学の楽しさを伝えていきたいと思ひます。

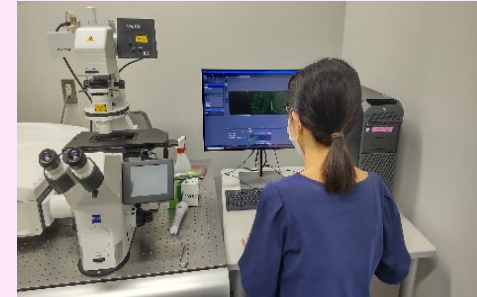
サイトウ ショウコ

齋藤 祥子

北里大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

核膜孔タンパク質が関わる発がん機構の解明



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究へご支援いただき、誠にありがとうございました。奨励金により様々な試薬を購入することができ、今まで進めてきた研究の継続と新しい実験の開始ができました。研究内容の一部は2023年度4つの学会において発表することができました。今後論文としてまとめていく予定です。

採択された研究については、今後細胞レベルおよびタンパク質レベルでの解明を進め、がん化機構の一端を解明することができればと思います。がん化機構の解明により、将来的には新たな治療薬の基盤となることを目指していきたいです。

ハマダ サチエ
濱田 幸恵

北里大学 医療衛生学部 助教

〔研究課題名〕

遅延型産後うつ病モデル動物の作製および新規治療法の基盤研究
－遅延型産後うつ病の基礎研究－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、2023年度女性研究者奨励金を賜りまして、誠にありがとうございます。本奨励金により、遅延型産後うつ病モデル動物を作製することができました。新たな試みでしたが、本奨励金のおかげで様々な予備検討を遂行することができました。今後も女性研究者の活躍のため、奨励金のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

ウメハラ ヨシエ
梅原 芳恵

順天堂大学大学院 医学研究科 アトピー疾患研究センター 助教

〔研究課題名〕

創傷治癒の細胞間クロストークにおける抗菌ペプチドの役割



寄付者の皆様へ〔御礼〕

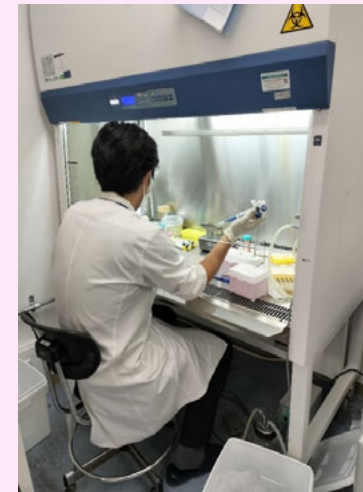
この度は女性研究者奨励金の御支援を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。本奨励金をいただき、新たな試薬の購入や学会参加が可能となり研究を進めることができました。多くの皮膚疾患はすぐに生命を脅かすものではありませんが、慢性化や重症化により患者さんやご家族の quality of life (QOL) を著しく障害することが少なくありません。今回の経験を励みに、皮膚科学研究の発展に貢献できるよう、より一層研究に邁進して参ります。

スズキ リサコ
鈴木 梨沙子

昭和大学病院 腫瘍内科 助教

〔研究課題名〕

ICI治療における新規同定単球遺伝子の機能解明及び治療応用



寄付者の皆様へ〔御礼〕

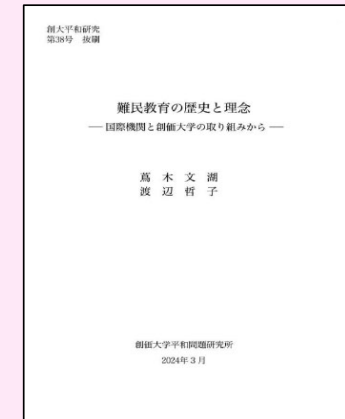
本来であれば遠方への出向により研究が滞ってしまうところでしたが、本奨励金により、研究を遠隔で進めることができ、大変感謝しております。4月からは出向を終え、自ら研究を行うことができる環境となったため、より一層努力して研究を進めて参ります。

ツタキ フミコ
蔦木 文湖

創価大学 平和問題研究所 助教

〔研究課題名〕

社会との関係構築における補完としての難民の高等教育の役割
—ドイツにおける難民高等教育プログラムの歴史的 분석を中心に—



寄付者の皆様へ〔御礼〕

女性研究者奨励金をいただいたことで、出産・育児の期間を経て継続して研究を行う上で、自分の研究の価値に自信をもって研究活動に取り組むことができました。支援者の皆様に心より感謝申し上げます。

難民の高等教育に関する研究は、日本だけでなく国際的にも端緒についたばかりですが、今回の研究が今後のこの分野の研究の発展に貢献できるものになったと考えております。今回のご支援を糧にいっそうの努力を重ね、異なる文化を持つ人々が共に力を発揮し、平和な国際社会を構築できる方途を模索する研究活動を進めてまいります。

ヤスイ マリコ

安井 万里子

帝京大学 医学部 病理学講座 助教

〔研究課題名〕

膀胱内マイクロバイームは膀胱癌進展に関与しているのか？

－ 癌関連細菌群およびToll様受容体を介した癌進展機構の解明－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は2023年度女性研究者奨励金に採択していただき、感謝申し上げます。本研究に対してご理解・ご支援いただきました支援者の皆様方に深く御礼申し上げます。出産・育児で研究の現場を長く離れていたことがあり、研究から身を引こうか考えた時期もありました。しかし、女性研究者奨励金に採択されたことが励みとなり、もう一度研究をやりたい、と思い直すことができました。2023年度後半は第2子の妊娠・出産で再度研究を中断せざるを得ませんでした。いただいた奨励金で研究の準備が可能となったことにより、育児休業から復帰した現在、迅速に研究を再開させることができました。今後もいただきましたご支援を励みに、研究を発展させてまいります。

ヒグチ アヤ
樋口 あや

東京電機大学 理工学部 理工学科 理学系 助教

〔研究課題名〕

天体望遠鏡を用いた惑星系形成過程の観測研究
－惑星大気の起源に迫る－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

本奨励金により、これまでの研究をさらに発展させることができました。私立大学は、担当する授業数が多く、海外での研究会や会議への積極的な参加が難しい状況が続いておりました。さらに昨今の円安・物価高騰のため、2023年度も海外出張を諦めておりましたが、本奨励金のおかげで渡航が実現いたしました。もうすぐ稼働する一平方キロメートル電波干渉計（Square Kilometer Array, SKA）の研究会であったため、今後の研究の方向性を探る上での情報収集もでき、大変良い機会になりました。観測天文学は、私たちの生活に直接恩恵がないため、なかなか予算の獲得が難しい分野ではありますが、研究過程で発見・開発された技術が実社会に還元されているものも数多く、本研究もその一つになることを信じて、今後も研究に励んでいきたいと思っています。

ヨシダ ユキノ
吉田 雪乃

東京電機大学 理工学部 理工学科 建築・都市環境学系 助教

〔研究課題名〕

広域的視点からみた持続可能なコンパクトシティ計画に関する研究

寄付者の皆様へ〔御礼〕

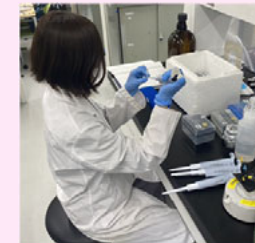
このたびは、寄付企業法人様、寄付者の皆様からのご支援、心より感謝申し上げます。今回の「2023 年度 若手・女性研究者奨励金」採択のご連絡を頂いた際、女性であり若手である、一研究者として気の引き締まる思いとともに、大変心強く感じました。

支援をしていただいたことで、現行の行政計画と土地利用について定量的に分析し、都市縮小計画の具体化手法としての有効性を検証することができました。今回得られた研究成果を社会に還元し、関わってくださる方々へ感謝の気持ちを忘れず、謙虚に実直に研究者として研鑽を積んでいきたいと思っております。

マエダ マユミ

眞榮田 麻友美

東京農業大学 応用生物科学部 助教



〔研究課題名〕

黒麹菌由来フェノール酸脱炭酸酵素の誘導・発現制御機構の解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究にご支援をいただきまして誠にありがとうございます。学生時代から本酵素がどのような条件下で誘導されるのか研究しており、今回の研究により自己消化が起こるような条件下で発現する可能性を見出すことができました。今後も本酵素の誘導・発現メカニズムについて調べ、最終的には泡盛製造への応用に繋げていきたいと思えます。今回ご支援を頂きました日本私立学校振興・共済事業団の関係者各位ならびにご寄付をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

クボ アヤ
久保 彩

東洋大学 学術研究推進センター 研究助手

〔研究課題名〕

Rubrobacter radiotoleransの特性解析

－放射線抵抗性の分子機構の解明－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究へご支援いただき誠にありがとうございました。本研究テーマである *Rubrobacter radiotolerans* は放射線耐性の機構どころか、放射線に強いということ以外ほとんどなにも分かっていない菌です。非常に新規性がある一方で、その新規性・挑戦性の高さから実現可能性が低いと指摘されることも多い研究テーマです。しかし、本奨励金に採択され、また書類審査時に選考委員会の方々から励ましのコメントをいただいたことで本研究の重要性、面白さを改めて確認することができ、研究遂行の励みとなりました。上述の通り現在の本研究は試行錯誤の連続であり、困難を極めています。しかしいつかこの研究が発展し、どこかで面白い報告ができるように、今後もより一層精進してまいります。

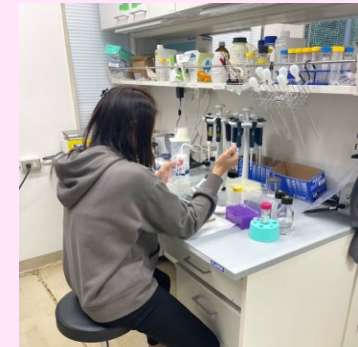
ヒランヤコン メタニー

Hiranyakorn Methanee

星薬科大学 特任助教

〔研究課題名〕

非対称均一糖鎖抗体の構造生物学的研究とエフェクター機能向上



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、私たちの研究にご支援いただき誠にありがとうございます。ご支援により、非対称グリコシル化IgGの構造解析とその機能に関する研究を進めることができました。また、伏見製薬所株式会社、東ソー株式会社にも御援助いただきました。併せて御礼申し上げます。この研究は、より効果的な治療用抗体の開発に向けた重要な一歩となります。

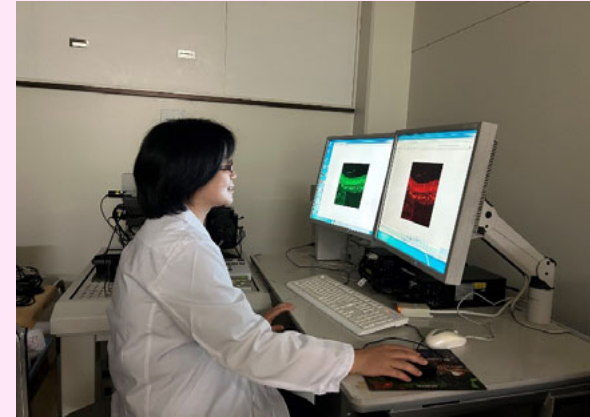
シユウ ジョウン

周 如賛

自治医科大学 医学部 助教

〔研究課題名〕

嗅覚系におけるモーター蛋白質KIF26Aの機能解析



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、女性研究者奨励金を授与していただき、心より深く感謝申し上げます。ご支援のおかげで、KIF26Aの嗅神経細胞における重要な役割を解明することができました。これから論文をまとめて発表すると思います。ご支援の皆様方に重ねて深くお礼申し上げます。

シライ ミホ
白井 美穂

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部 講師

〔研究課題名〕

看護学生のメンタルヘルス向上のための新奇運動の開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本奨励金に採択していただき、ご寄付いただきました企業様、関係者の皆様、日本私立学校振興・共済事業団の方々には深く感謝申し上げます。子育てをしながら研究を行う女性研究者として、日々の業務と子育てでなかなか研究へのモチベーションを保つのが難しい毎日でしたが、本研究に採択されたことにより、より一層研究へのモチベーションが高まり、研究に取り組むことができました。また、以前より行いたいと考えていた実験を行うことができ、非常に有意義な実験結果をもたらすことができたと考えております。このような助成金は、女性研究者にとって非常に意味あるものであり、これからの研究生活の大切なステップとなりました。今後もこれまで取り組んできた研究をもとに新しい疑問や解決が望まれている問題に取り組み、研究データを基に社会に還元できるよう邁進してまいります。

クメ トモヨ
久米 知代

聖徳大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 専任講師

〔研究課題名〕

依存症予防の視点を基軸とした薬物乱用防止教育に関する研究
－「依存症予防教育講座」の効果研究を中心として－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、研究の実施にあたり多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。また、研究計画段階から快く研究に協力してくださったA県B市教育委員会の教育委員長、児童生徒の実態に合うアンケート調査票を一緒に考えてくださった先生方、アンケート調査の実施や回収、依存症予防教育講座の実施の日程調整や当日の実施にご協力頂いた先生方にも心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

モリオカ ヒロコ

森岡 紘子

聖徳大学短期大学部 保育科 講師

〔研究課題名〕

幼児における音の探索行動の可能性を探る

－手作り楽器カズーを通して－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究実施において、ご支援を賜りました日本私立学校振興・共済事業団とご寄付頂きました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。基本的に「声」の表現は形のないものですので、「声」の表現をどのような手法で捉えていくのかという点はいつも悩ましい課題ですが、この度本研究を採択して頂き、機械を用いて声を記録し、動画分析していくことに挑戦することができました。今後、本研究を出発点とし、幼児期の「声」を用いた音の探索活動を継続的に観察するなど、子どもが主体的に音を探索する能力について、さらに内容を深め調査していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

ミナガワ リナ
皆川 理奈

修紅短期大学 幼児教育学科 助教



〔研究課題名〕

幼児期の内発的な創造欲求を醸成させる環境と援助活動の構築
－五感を使う体験をし自ら発見して造形表現をするために－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

想像力と創造性は、自ら物事を考え切り拓いて生きてゆくために必要不可欠なものです。造形や美術という表現の学びは、感情や記憶、思考や試行などさまざまな要素が複雑に絡んだ経験であり、物理的な“モノを作ること”という狭義で捉えられるものではないと考えます。子どもが自分で気づき、探求し、表すことができるよう、なるべく沢山の選択肢の中で様々な関係性に出会う機会を提供すること、また、無駄にも思えるトライアンドエラーをプロセスとして受け止められるよう理解や共感を示すことが、指導する側に求められていると感じています。

今回は貴重なチャンスをいただき、研究のあゆみを一歩進めることができました。この研究で得られた結果から、子どもは既に、自らの視点や選択の根拠をしっかりと持っていることを実感いたしました。上手下手という評価や狭い価値観で子どもの創造性を狭めることないよう念じつつ、この先も、子どもの内から湧き出る創造性を信じた活動を子どもたちと一緒に作り上げていきたいと思えます。

本研究をご理解いただき多大なるご支援を賜りました日本私立学校振興・共済事業団と関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

ハラダ メイ
原田 芽生

愛知学院大学 薬学部 医療薬学科 助教

〔研究課題名〕

セラノスティクスを指向した新規 NIR-II 色素の開発

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究に対してご支援をいただき誠にありがとうございました。本奨励金により色素合成に必要な装置や試薬を購入して研究を遂行し、高い発光効率と安定性を有する色素の吸収・蛍光を長波長化させることができました。今後近赤外領域に吸収・蛍光を有する新規色素を合成し、今回生み出した戦略で更なる長波長化を行うことで NIR-II 領域に吸収・蛍光を有する分子の創成が強く期待できます。

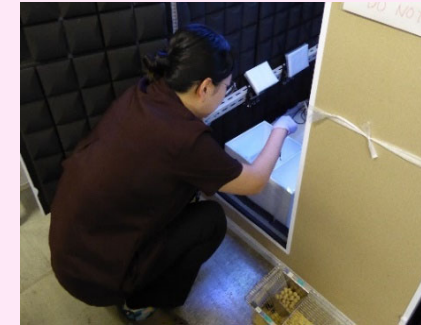
本研究で得られた成果については既に *Chem. Eur. J.* 誌で発表しております。加えて第143回薬学会年会や The 31st International Conference on Photochemistry (ICP2023) にて発表し、様々な大学の方と有意義なディスカッションを行うことができました。このような貴重な機会をいただけたのは本支援があってこそと思います。今後も光を利活用できる新たな色素や技術の開発に取り組み、社会へ貢献できるよう精進してまいります。

ホリオ カヨ
堀尾 佳世

藤田医科大学 医学部 生理学Ⅱ 助教

〔研究課題名〕

マウス触覚嗜好性に関わる神経回路基盤の同定



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究に対しご支援を賜り、誠にありがとうございます。ご厚意に心より感謝申し上げます。皆様からのご支援のおかげで本研究を一層深化させ、新たな知見を得るための重要な一歩を踏み出すことが出来ました。今回のご寄付は研究の推進にとって非常に大きな励みとなります。今後も皆様のご期待に沿えるよう、研究活動に全力を尽くし、社会に貢献できる成果を生み出せるよう、一層精進してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

アンボ ナツエ
安保 夏絵

中部大学 人文学部 助教



〔研究課題名〕

英語圏文学作品における性差の分析
ーサイボーグとヒューマノイドを中心にー

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、本研究をご支援くださり深謝申し上げます。研究資金を援助していただいたことで、遠方で行われる研究会や学会への参加が可能となり、示唆に富んだ様々な発想や意見、研究者たちと出会うことができました。そして何よりも、英語論文の執筆の過程で、新たな研究目標を見つけることができました。これまではテクノロジーと女性というテーマのもと研究を進めていたのですが、時代の変化もあり、テクノロジーとクィア（LGBTQ）の関係についてもより深く研究する必要性に気づけました。改めて深く御礼申し上げます。

スキガラ エツコ
鋤柄 悦子

愛知文教女子短期大学 生活文化学科 食物栄養専攻 助教



〔研究課題名〕

次亜塩素酸水を使用した生鮮魚介類の殺菌効果および安全性の検証
－妊婦の食生活向上を目的として－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は本研究を2023年度女性研究者奨励金に採択いただき感謝申し上げます。

本研究は単独で初めて、そして産休育休復帰の年度で採択いただいたという意味でも、女性研究者としてこれ以上ない素晴らしいスタートを切ることができたと思っております。ひとえに日本私立学校振興・共済事業団、ご支援をいただきました企業や皆様のおかげです。

今回、当初申請した実験方法について選考委員の先生からコメントをいただき、再度検討することから始まりました。なかなか思うような結果が出ず、焦るばかりでしたが、最終的には、次亜塩素酸水を用いた刺身など、切り身の生鮮魚介類に対する殺菌効果と安全性を検証することができました。

食事の制限が多い妊婦の食生活向上の可能性とあわせて、海に囲まれ豊富な魚介類を漁獲できるという恵まれた地理を生かした日本食の普及の可能性も示唆されました。

今後は生鮮魚介類の種類を増やし、より実際に近い官能検査を行うなど研究を継続し、論文投稿することで研究成果を広く社会に公表していく予定です。

アサヒナ ヒロコ
朝比奈 裕子

京都薬科大学 薬学部 助教

〔研究課題名〕

TACEの切断能を誘導する細胞外領域と細胞膜との相互作用



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は「2023年度女性研究者奨励金」に採択いただき、厚く御礼申し上げます。ご支援いただき、新たに挑戦的な研究に着手することができました。これからも社会また、科学技術の発展に貢献していけるよう研究を進めていきたいと思っております。

クォ ヤウエン
郭 雅雯

京都光華女子大学短期大学部 専任講師



〔研究課題名〕

日本の海外住居地における「日式住宅」の住宅計画と建築意匠に関する調査研究

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本年度は台湾に渡り、当時の日本植民政府が作成した日本統治時代の膨大な史料の中から重要と思われる史料・資料を選択し、当時の史料・資料収集調査を行いました。しかし、当時の史料・資料は膨大な数があり、収集や整理に非常に時間がかかり容易ではありません。また、この研究を遂行するために海外に渡る経費がかかりました。今後は、植民地状況という文脈をおさえつつ、アジア文化圏への研究視野をさらに広げていく価値を有する研究であるため、さらに膨大な研究費用が必要になると考えられます。本年度は、本奨励金により海外に渡る経費を気にせず、研究を遂行できたこと、日本人による海外居住の実相を解明するための研究を一步前進できたことにご助力をいただき、非常に感謝しております。

クワバラ ナツミ
桑原 奈津美

京都医療科学大学 医療科学部 助教

〔研究課題名〕

SNS分析によるマンモグラフィ検診受診率低迷の要因解明

寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を遂行するにあたり、研究奨励金をご支援いただきました日本私立学校振興・共済事業団ならびに関係者各位に心より御礼申し上げます。今回の研究でマンモグラフィ、乳がんに関する様々な投稿があらゆる形でSNSへ投稿されていることがわかりました。日本のどこかに居る、見ず知らずの方のご意見を窺い知ることもでき、検査を担う診療放射線技師としても大変貴重な意見に触れることができました。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

シミズ フミエ
清水 史恵

京都看護大学 看護学部 講師

〔研究課題名〕

小児看護学実習カンファレンスでの看護教員の教育的関わりに至る判断

寄付者の皆様へ〔御礼〕

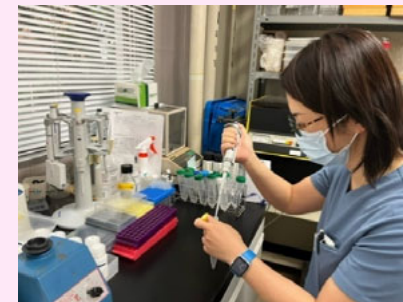
このたびは、研究をご支援いただき、誠にありがとうございました。女性研究者奨励金をいただくことで、経済面の心配をすることなく研究に取り組むことができました。何より、女性研究者奨励金をいただくに値する研究として評価いただけたことは、とてもありがたいことでした。今回取り組んだ研究の成果が、小児看護学実習を担当する教員にとって役立つものとなるよう、研究をさらに洗練していきたいと思います。研究者、教育者として、少しでも社会に役立つことができるように取り組んでいきます。

ミヤガワ チホ
宮川 知保

近畿大学 医学部 産科婦人科学教室 助教

〔研究課題名〕

卵巣明細胞癌に対する新規治療薬とバイオマーカーの開発
－近交系化自家発癌マウスモデルを用いた免疫学的解析による－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、当研究にご支援を賜り誠にありがとうございます。資金を頂戴し安心して研究を進めることができました。子宮内膜症は少産社会で問題となっており、それに由来する卵巣癌も増加する可能性があります。日本人で罹患リスクが高くなるとされる難治性卵巣明細胞癌に有効な治療とそのバイオマーカーを探索すべく、今後も研究を継続していきたいと思っておりますので、ご支援よろしくお願いいたします。

ナカムラ チズ
中村 千珠

大阪人間科学大学 心理学部 助教

〔研究課題名〕

AYA世代のがん患者への理解と共生を深めるためのがん教育
—プログラム作成とその効果について—

寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は女性研究者奨励金を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。採用されたときは大変嬉しく、ご支援を賜りましたことは、思い描いていた研究を遂行するにあたり私自身の心の支えともなりました。AYA世代のがん患者への理解と支援が広がることを願っており、本研究がその一助になればと思っております。さらに、AYA世代のがん患者への理解を通じ、大学生自身が自らの生を見つめ直し、生を大切に思うきっかけになればと思っております。今後も本研究で得られた知見を、学会や学術雑誌等で成果を発表し、少しでも社会に貢献できるように尽力してまいります。本当にありがとうございました。

アコ カオリ
阿児 馨

神戸常磐大学 保健科学部 看護学科 講師

〔研究課題名〕

都市部A地区の高齢者の健康づくりのためのコミュニティ意識

－フォーカスインタビューによる持続可能な地域福祉への思いの抽出－

寄付者の皆様へ〔御礼〕

まちの保健室の健康相談や介護予防事業を長年続けてまいりました。この度のご支援によって、住民の健康づくりへの活動やコミュニティ意識に対し、再度向き合い、研究に取り組むことができました。報告ができて大変嬉しく思っております。支援金を通してチャレンジする機会を与えてくださった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

エヅカ フウナ
江塚 楓奈

倉敷芸術科学大学 生命科学部 助教

〔研究課題名〕

保護犬の使役犬としての潜在能力評価
－リアルタイムPCRによるSNP解析－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は女性研究者奨励金に採択いただきまして、誠にありがとうございました。研究者として日が浅く未熟な部分もあり、現時点で得られた研究成果も小さなものですが、本奨励金により研究活動を行ったことで新たな知見を得るとともに、目標が明瞭になりました。これからも動物および人々の生活に還元していくことで社会に少しでも貢献できるよう、精進して参りたいと思います。

本研究に多大なるご支援を賜りました日本私立学校振興・共済事業団の皆様および関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。今後も若手・女性研究者にご支援いただきますようお願い申し上げます。

フジタ ユキ
藤田 由起

くらしき作陽大学 子ども教育学部 講師

〔研究課題名〕

若者ケアラーのアイデンティティ形成に関する系統的研究
ーロールレタリングによるアイデンティティ確立を目指してー



寄付者の皆様へ〔御礼〕

日頃より研究へのご支援をいただき誠にありがとうございます。皆様のご支援への感謝を忘れず、社会貢献に繋がる研究を今後も進めて参ります。今後ともご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

アソヌマ ハルナ
阿曾沼 春菜

広島修道大学 国際コミュニティ学部 助教

〔研究課題名〕

非欧州地域秩序の国際法的「翻訳」と新国際法世界の創設
—サトウの外交論を手掛かりに—



寄付者の皆様へ〔御礼〕

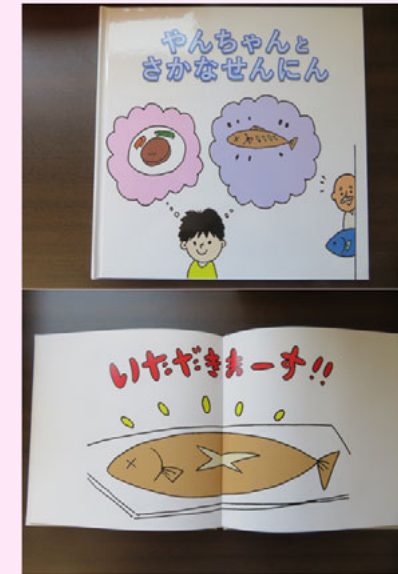
このたびは、女性研究者奨励金に採択していただき、ありがとうございます。大学院で博士号を取得後、出産・育児により10年ほどフルタイムの研究職から離れておりました。研究職に復帰した年に、本研究助成に採択いただいたことで、史料調査のための旅費や研究遂行に必要な文献の購入費に充てることが出来ました。地方都市での研究は史料調査のための旅費がかさみますが、そのような心配をすることなく、調査を実施できたことを有難く思っております。本奨励金のご支援で研究を進められたことで、翌年度の科研費に採択され、研究をさらに深化させることが可能となりました。これからも研究成果を積み上げ、社会に貢献してまいります。

タカキ ユカ
高木 祐花

宇部フロンティア大学短期大学部 食物栄養学科 助教

〔研究課題名〕

幼児の魚摂取増加を目指した食育ツールの提案



寄付者の皆様へ〔御礼〕

この度は、女性研究者奨励金のご支援を賜りまして心より感謝申し上げます。本奨励金に採択されたことにより、本学の付属幼稚園に在籍する幼児の保護者を対象に調査を実施、また魚に関する絵本を作成することができました。

今回の研究では想定より数が得られず、調査方法の再検討の必要性和重要性を改めて感じました。その中でも得られた貴重な意見を踏まえ今後は調査方法を検討して研究を進めていきたいと思ひます。

チャウ ユン テン

CHOW YUEN TING

長崎短期大学 国際コミュニケーションコース 助教

〔研究課題名〕

外国につながりをもつ子どもの方略的言語能力を支援する教材開発
－小中学生が使う若者言葉について－



寄付者の皆様へ〔御礼〕

本研究を支援してくださった支援者の方々に、心から感謝いたします。皆様のご支援は、外国につながりをもつ児童の生活や日本語支援、教育に大きな影響を与えてきました。社会的な弱者である彼らのために、皆さんが私の理念に共感し、積極的に取り組んでくださったことに深く感謝しています。

支援者の方々の貢献により、外国につながりをもつ児童の悩みが理解され、将来、日本語を母語とする児童と平等に扱われる機会が増えるなど、多くのプラスの影響が生まれています。質の高い教育を提供するという私の理念において、皆さんの後援が大きな支柱となっています。心から感謝申し上げます。